

2014 年度
海外展開に関する動向調査結果概要

2015 年 3 月
名古屋商工会議所

調査概要

1. 調査目的 当地域における企業の海外展開に関する動向を把握し、次年度以降の本所事業へ反映させるため。
2. 調査期間 平成 26 年 12 月 9 日(火)～平成 27 年 1 月 15 日(木)
3. 調査対象 名古屋商工会議所会員を中心とする当地域の企業等 682 社
(海外進出企業ならびに海外進出に関心のある企業)
4. 調査方法 郵送またはメール送付
5. 回答方法 無記名方式

6. 回答状況

依頼方法	依頼数	回答数	回答率
郵送	187	75	40.1%
メール	495	20	4.0%
合計	682	95	13.9%

7. 調査項目 (1) 企業概要 (従業員数・業種) について
(2) 海外への進出状況について
(3) 今後の海外展開について
※ 次ページ参照

[本調査に関する問合せ先]

名古屋商工会議所 産業振興部 国際グループ

住所：〒460-8422 名古屋市中区栄 2-10-19

電話：052-223-5729 FAX：052-252-5751

Eメール：kokusai_ncci@nagoya-cci.or.jp

免責条項

本調査で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。
名古屋商工会議所では、調査にあたっては可能な限り正確な情報を提供しておりますが、
ご利用される方が不利益を被る事態が生じても責任を負いかねますのでご了承下さい。

下記質問項目に該当する箇所に○印もしくは記載項目にご記入下さい。

1. 御社の企業概要についてお尋ねします。

(1) 御社の従業員は何人ですか？

- ① 1人～50人 ② 51人～100人 ③ 101人～300人 ④ 301人以上

(2) 御社の業種は何ですか？

- ① 製造業（化学・プラスチック・ゴム） ② 製造業（鉄鋼・非鉄金属・金属製品） ③ 製造業（機械関係）
 ④ 製造業（電子機器関係） ⑤ 製造業（輸送用機械関係） ⑥ その他の製造業（ ）
 ⑦ 卸売業 ⑧ 小売業 ⑨ サービス業 ⑩ その他（ ）

*** 以下の質問については、下記の国名番号をご記入下さい。**

中国(香港・台湾含む) : 1	韓国 : 2	タイ : 3	インドネシア : 4	ベトナム : 5
シンガポール : 6	マレーシア : 7	フィリピン : 8	インド : 9	その他アジア : 10
オセアニア : 11	北米 : 12	中南米 : 13	欧州 : 14	中近東 : 15
				アフリカ : 16

2. 海外への進出状況についてお尋ねします。 (複数回答可)

- ① 製造拠点を設けている。 → (国名番号 :)
 ② 販売拠点を設けている。 → (国名番号 :)
 ③ 統括拠点を設けている。 → (国名番号 :)
 ④ 研究開発拠点を設けている。 → (国名番号 :)

3. 今後の海外展開についてお尋ねします。

(1) 今後の海外展開についてご記入下さい。(複数回答可)

- ① 新規進出を考えている。 → (国名番号 :)
 ② 拡大・拡充を考えている。 → (国名番号 :)
 ③ 縮小・撤退を考えている。 → (国名番号 :)
 ④ 現状を維持していく考えである。

(2a) (前項で①②をご回答の方) 進出または拡大の理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 販路拡大 ② 安価な労働賃金 ③ 国内での取引先との関係があるから
 ④ 国内市場の成熟や縮小を懸念しているから ⑤ 第三国へ輸出するメリットを活かしたい
 ⑥ その他 ()

(2b) (前項で③をご回答の方) 縮小もしくは撤退の理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 為替の変動 ② 受注や販路の確保が困難 ③ 生産品質管理が困難
 ④ 現地管理者の確保が困難 ⑤ 現地労働者の人件費高騰 ⑥ 現地パートナーとのトラブル
 ⑦ その他 ()

(3) 海外進出や取引において、名古屋商工会議所に望む項目がありましたらご記入下さい。

()

ご回答ありがとうございました。

名古屋商工会議所では、これまで当地域の企業を対象に、投資環境調査ミッションを派遣（2011年9月ベトナム、2012年4月インドネシア、2013年2月タイ、2013年9月ミャンマー・カンボジア、2014年3月フィリピン、2014年11月インドネシア、2015年2月にメキシコ）し、現地の政府機関との懇談、既に進出している日系企業の工場視察などを実施してきた。また、2013年より、海外へ展開する中小企業を対象に、各種相談への対応を図るため、事前登録した専門家との個別相談会を実施してきた。

その他、アセアン地域のみならず各国からの要請にこたえるために投資セミナーを開催し、参加企業に対して現地の最新経済事情などの情報提供を行った。

今回の海外展開に関する動向調査は、名古屋商工会議所の会員企業を中心に、海外展開に関する意見を聴取し、今後の事業への一助とするために実施したものである。主に動向調査の内容を見ると、海外へ進出する企業は、規模を見ると経済的人的余裕のある大企業が多く、業種別では製造業が半分を占め、当地域の特徴が現れている。進出地域は重複回答でありながらも300社近くがアセアンをはじめとする日本近隣諸国に海外拠点を設置していることが伺える。また、これらの調査を通して感じられたことは中小企業への海外進出サポートが欠かせないことである。

進出先として最も多くの回答があった中国に関して見ると、政治的な問題はあるものの、中国（香港・台湾を含む）への新規進出を検討している企業は5社あり、拡大・拡充を検討している国として中国を挙げた企業は14社に上った。また、中国に進出している50社のうち、チャイナプラスワンとしてアセアン地域への新規進出を検討している企業は18社（24ヶ国）に上った。

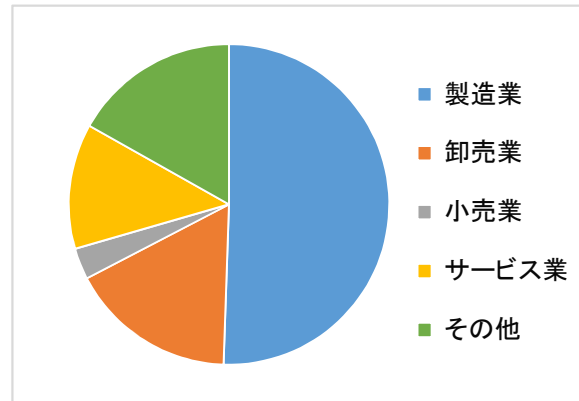
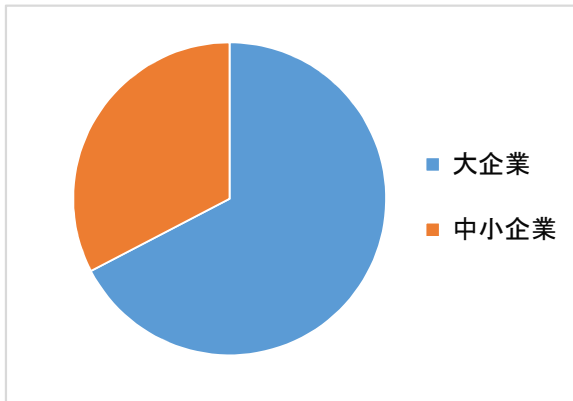
今後の海外展開について、新規進出を検討している国はタイ・ベトナム・フィリピンなどアセアン地域に集中しており、全体の4割に上った。進出または拡大の理由では、企業の規模を問わず、販路を開拓したい企業や、国内市場の成熟・縮小を懸念して海外への進出を検討する企業の回答が目立った結果となった。そして、自由記述では、現地の最新情報を提供してほしい、視察ミッションや商談会を開催してほしい、海外の情報や規制などの情報提供の迅速化など多数のご意見を頂戴した。

最後に、この度の「海外展開に関する動向調査」にご回答頂きました企業各位に厚く感謝を申し上げますとともに、本調査が有効に活用されるよう名古屋商工会議所として事業展開をしてまいり所存です。

名古屋商工会議所

企業の概要

■回答企業の規模および業種



	企業数	構成比
大企業	64	67.4%
中小企業	31	32.6%
計	95	100.0%

	企業数	構成比
製造業	48	50.5%
卸売業	16	16.8%
小売業	3	3.2%
サービス業	12	12.6%
その他	16	16.8%
計	95	100.0%

◆回答企業のうち約2/3が大企業、業種別では約半数が製造業となった。

		企業数	(内訳)	
			大企業	中小企業
製造業	化学・プラスチック・ゴム	6	5	1
	鉄鋼・非鉄金属・金属製品	11	3	8
	機械関係	5	3	2
	電子機器関係	0	0	0
	輸送用機械関係	8	5	3
	その他の製造業	18	10	8
	小計	48	26	22
非製造業	卸売業	16	9	7
	小売業	3	3	0
	サービス業	12	11	1
	その他	16	15	1
	小計	47	38	9
	合計	95	64	31

◆製造業／非製造業の区分では、ほぼ半分ずつとなった。

ほとんどの業種において大企業からの回答の方が多かったが「鉄鋼・非鉄金属・金属製品」業では中小企業が上回る結果となった。

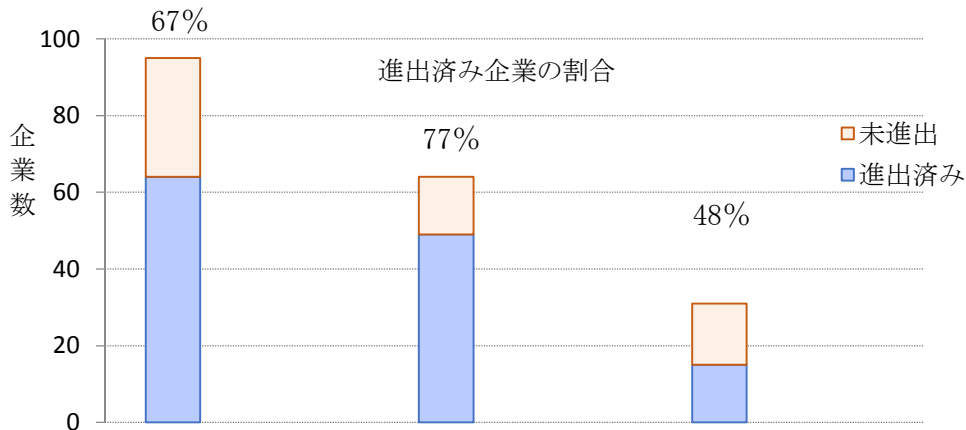
[中小企業の定義]

業種分類	中小企業基本法の定義
製造業その他	資本金の額又は出資の総額が3億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が300人以下の会社及び個人
卸売業	資本金の額又は出資の総額が1億円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人
小売業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人
サービス業	資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人

(出典：中小企業庁)

海外への進出状況

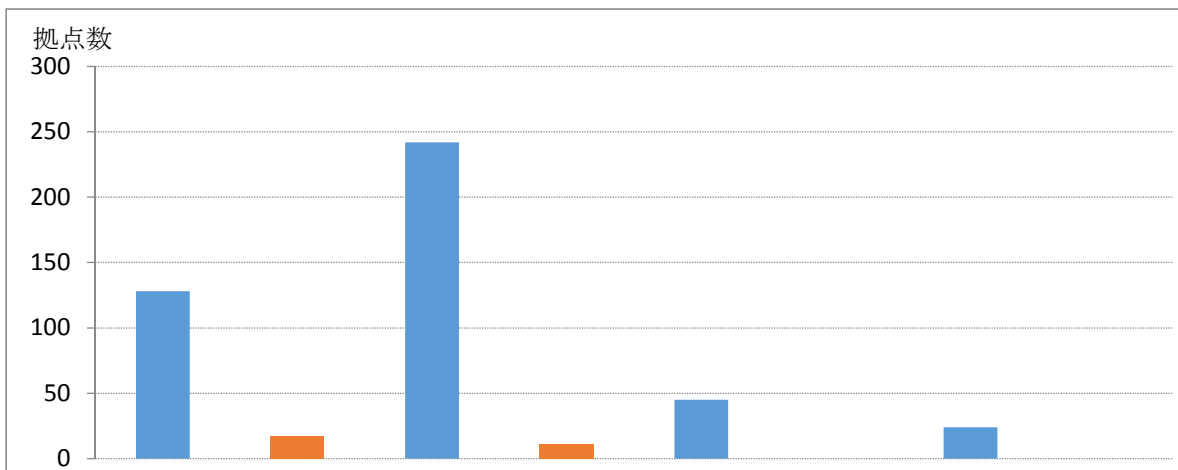
■企業規模別の海外進出状況



	全体	大企業	中小企業
進出済み	64	49	15
未進出	31	15	16

- ◆回答企業95社のうち、海外に進出している企業は64社（67％）であった。そのうち、大企業は49社（77％）であったが、中小企業は15社（48％）であり、中小企業で海外に進出している企業は、半数に満たない結果となった。

■進出形態別の海外拠点数

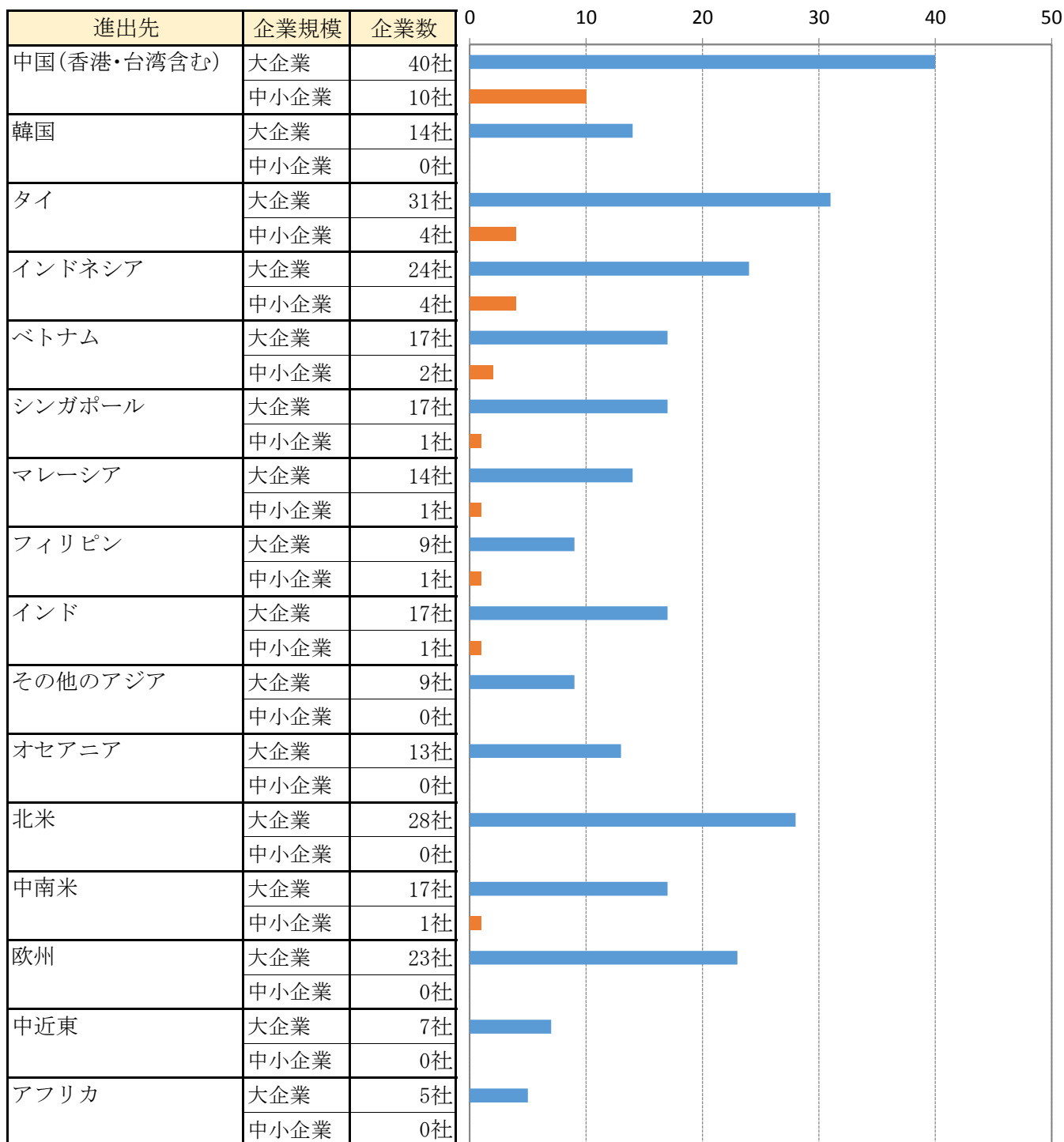


企業規模	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業
進出形態	製造拠点		販売拠点		統括拠点		研究開発拠点	

- ◆大企業では、「販売拠点」が242と最も多く、次いで「製造拠点」が128となった。一方、中小企業で最も多かったのは「製造拠点」の17であり、「販売拠点」が11と続いた。また、「統括拠点」または「研究開発拠点」を海外に設けているのは大企業のみであった。これらの結果からは、大企業と中小企業との間では、海外進出に関する資金、人材、情報収集等において依然としてかなりの格差があると推測され、中小企業に対しては、今後も継続的な支援が求められていくものと思われる。

海外への進出状況

■ 国別の進出状況



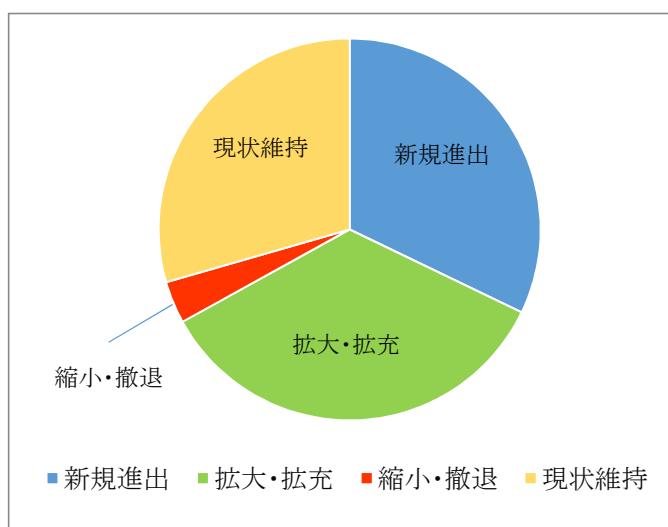
◆大企業の進出先では、「中国（香港・台湾含む）」や「タイ」「インドネシア」に加えて、「北米」や「欧州」にも多くの企業が進出している。

中小企業の進出先では「中国（香港・台湾含む）」が最も多く、次いで「タイ」「インドネシア」「ベトナム」と続いており、アセアン各国が中心となっている。

今後の海外展開

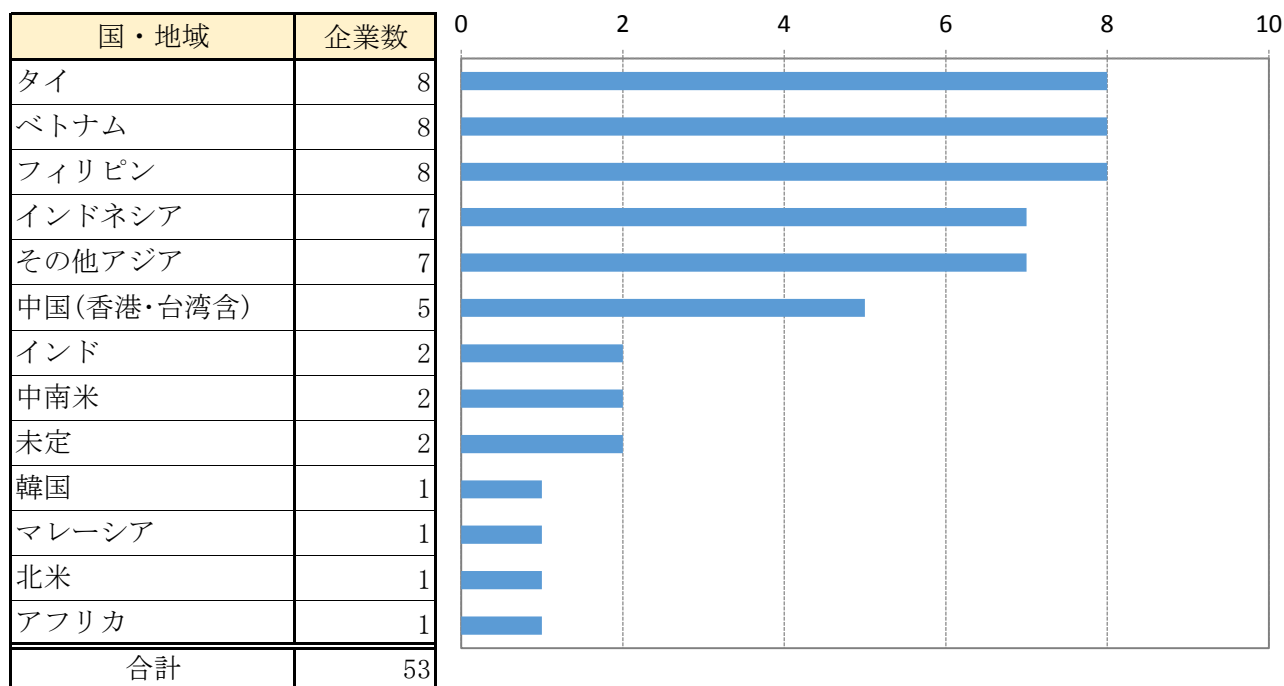
■今後の海外展開に関する方向性（対象国毎に異なる回答を選択可）

	企業数	構成比
新規進出	36	32.1%
拡大・拡充	39	34.8%
縮小・撤退	4	3.6%
現状維持	33	29.5%



- ◆「新規進出」と「拡大・拡充」を合わせた数は67%となり、2/3を超える企業が海外展開について積極的な回答であった。
- その一方で、「縮小・撤退」を選んだ企業が4社あった。

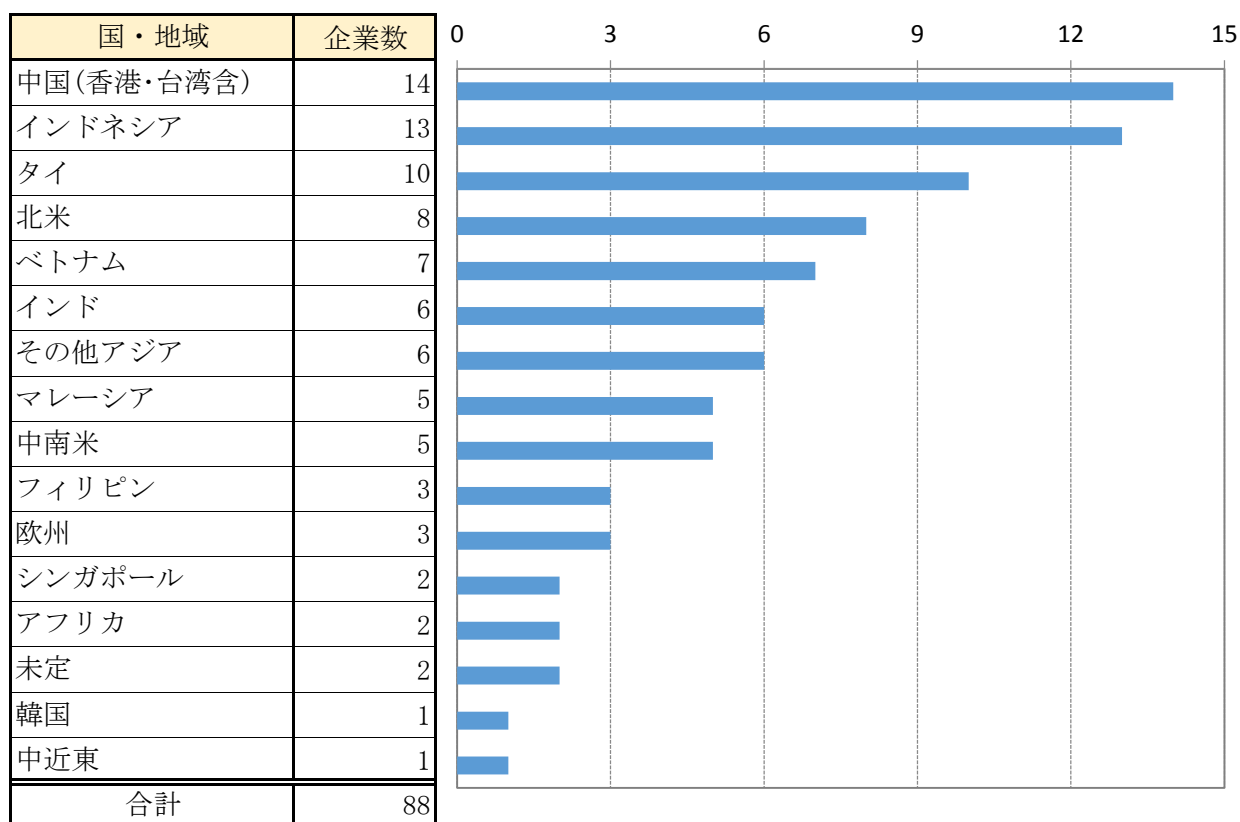
■「新規進出」を検討している国・地域



- ◆「タイ」「ベトナム」「フィリピン」が各8社で最も多く、次いで「インドネシア」「その他アジア」となり、アセアンを中心とするアジア各国が上位を占める結果となった。
- 「その他アジア」までの上位5ヶ国・地域で、回答企業全体（95社）の4割に上った。
- なお、進出を検討してはいるが、進出先は「未定」とする回答も2社あった。

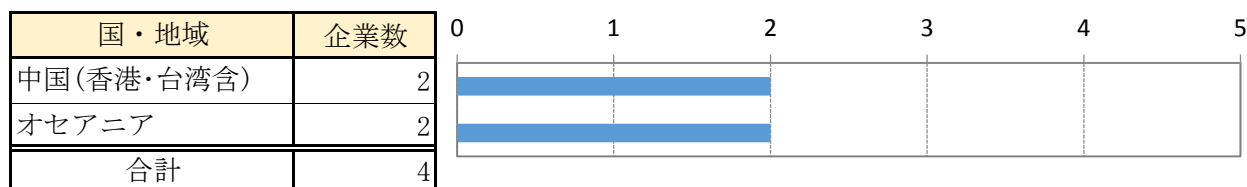
今後の海外展開

■ 「拡大・拡充」を検討している国・地域



- ◆ 「新規進出」を検討している国では、アセアン各国が上位であったのに対し、既に進出している企業が「拡大・拡充」を検討している国では、「中国(香港・台湾含)」が最も多い結果となった。また、4位には「北米」が入っており、「新規進出」先とは異なる結果となった。

■ 「縮小・撤退」を検討している国・地域

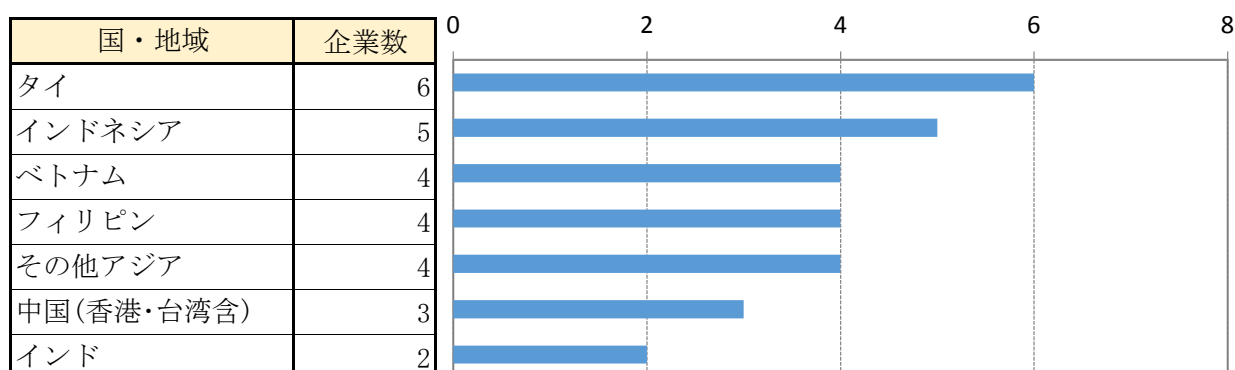


- ◆ 「中国(香港・台湾含)」と「オセアニア」が各2社ずつの結果となった。

縮小・撤退を検討している企業は想定するほど多くは無かった。縮小・撤退の理由としては別表(次頁)で示しているように、為替の変動、受注や販路の確保が困難、等が理由に挙げられた。

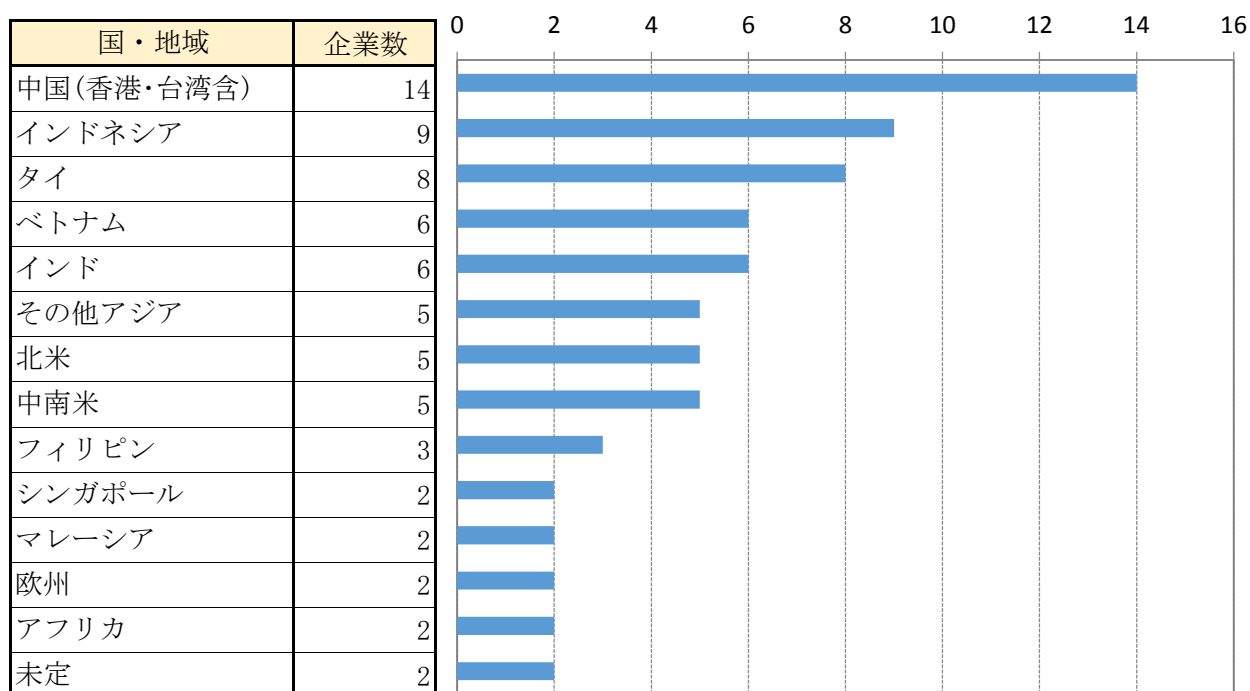
今後の海外展開

■中国(香港・台湾含)に進出済みの企業が、「新規進出」を検討している主な国・地域



◆中国(香港・台湾含)に進出済みの企業が、新規進出を検討している国・地域では、タイが6社で最も多かった。続いて、インドネシア、ベトナム、フィリピン、その他アジアとなり、進出先いわゆる”チャイナプラスワン”としての傾向が見られる結果となった。

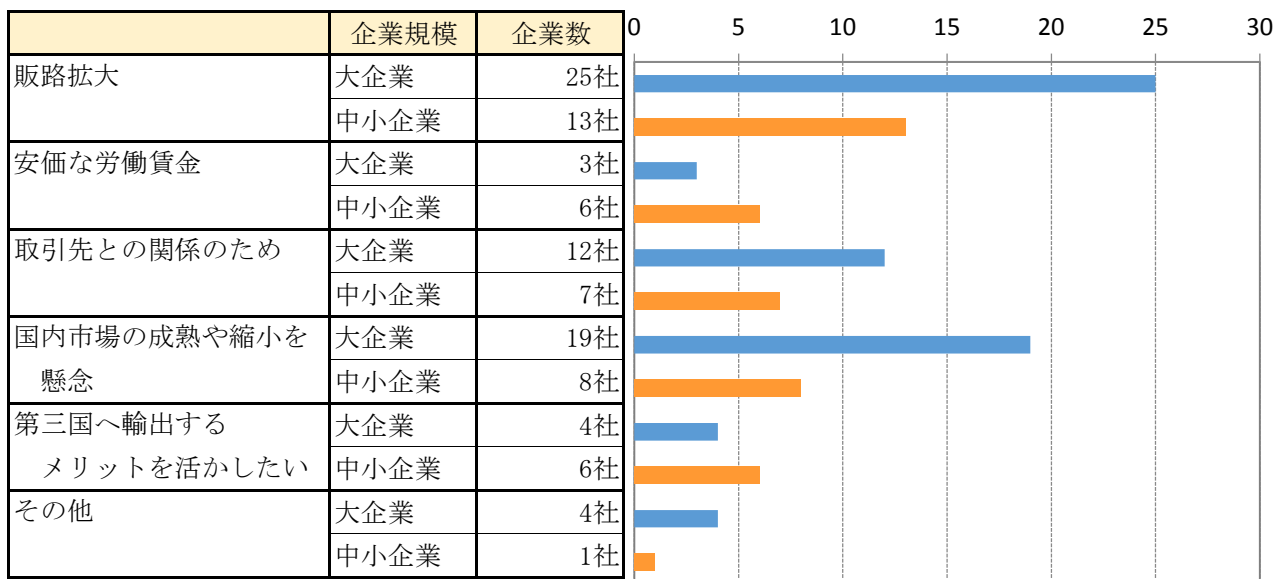
■中国(香港・台湾含)に進出済みの企業が、「拡大・拡充」を検討している主な国・地域



◆中国(香港・台湾含)に進出済みの企業が、拡大・拡充を検討している国・地域では、中国(香港・台湾含)が最も多く、14社が拡大・拡充を検討している結果となった。その後は、インドネシア、タイ、ベトナム、インド、その他アジアと続き、アセアンの主要国が上位を占めた。

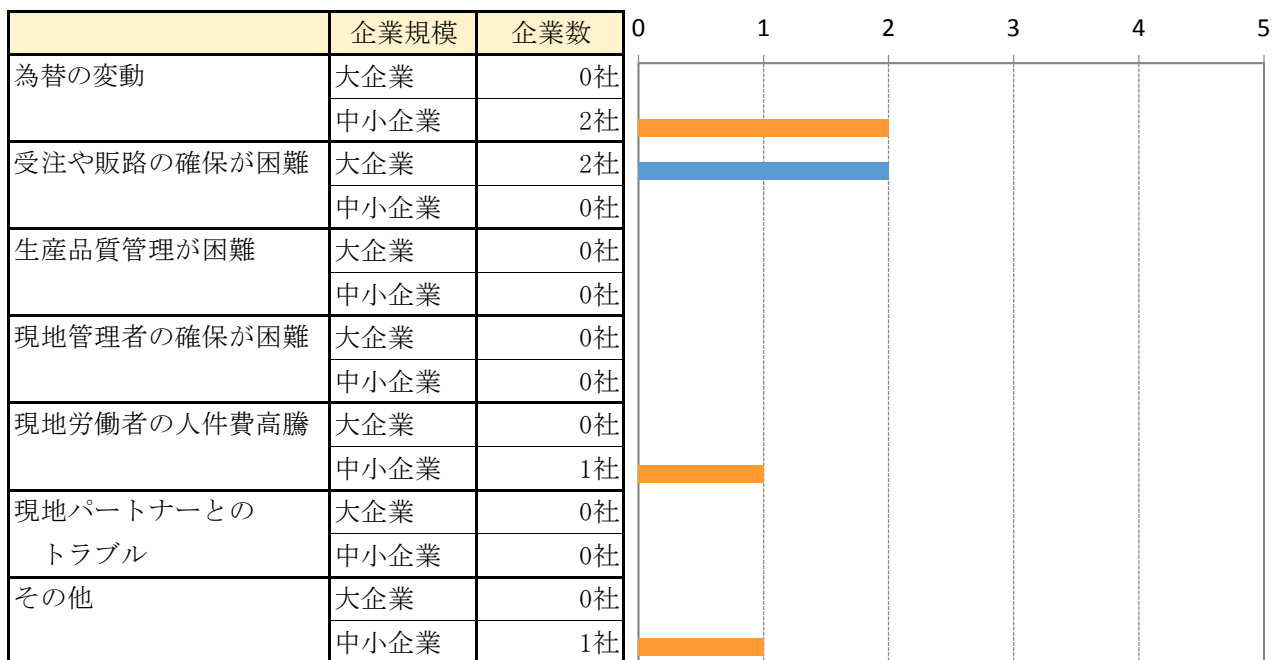
今後の海外展開

■進出または拡大の理由



- ◆進出または拡大の理由として、大企業・中小企業ともに「販路拡大」が最も多い理由として挙げられ、次いで「国内市場の成熟や縮小を懸念」が続く結果となった。
- 3番目に多い「取引先との関係のため」まで含めて、大企業・中小企業ともに同じ理由が上位を占めた。

■縮小もしくは撤退の理由



- ◆大企業では「受注や販路の確保が困難」、中小企業では「為替の変動」がともに2件ずつで最も多い理由となった。全体的にみて、海外での縮小もしくは撤退を検討している企業が少ない結果となった。

■海外進出や取引において、名古屋商工会議所に望む項目

- ・ 現地最新情報の提供
- ・ 視察ミッションや商談会の開催など
- ・ 海外の情報や規制などの情報提供の迅速化
- ・ 今回のような海外展開動向調査の結果に関心があるので、結果が出たらご送付いただきたい
- ・ 情報発信
- ・ 海外リスクの多様化への各企業の対処方法の実態を把握したい
- ・ 中国において販売を拡充し、製造の縮小・撤退を検討
- ・ アセアン地域への投資環境調査ミッションの継続的な派遣
- ・ 現地での法律や慣習の紹介
- ・ 提携先の紹介
- ・ 過去に参加させて頂いた視察ミッションは弊社のタイ進出にとって大変参考になりました。

引き続きアジア諸国への視察会が開催される際には是非とも参加させて頂きたいと思えます。